

1 5 情報公開

【目的・目標】

教育研究活動、自己点検・評価結果、財政情報などを学内外に広く発信することにより、高等教育機関としての社会的責任を果たすことを目的とする。また、情報の公開にあたっては個人情報保護法等の法令に基づき適切に実施する。

1 5 - 1 教育研究活動情報の公開

【現状の説明】

本学の教育研究活動については、ホームページによる公開と、保証人、就職先企業等に向けた学内広報誌「えんのき」(年4回発行)により情報公開を行っている。受験生向けには、大学案内を年1回発行している。

教員の教育研究業績の概要については、ホームページに「教員データベース」を掲載し、検索等できるようにしている。

地域連携や産学連携に向けた教員の研究シーズ等については、2005年度から「東京工芸大学研究・制作活動概要」を発行し、各企業や地方自治体等に配布している。

【点検・評価】【長所と問題点】

教育研究活動をより効果的に公開するため、大学広報を専門に取り扱う企画広報課を2004年度に法人事務局に設置した。企画広報課では、ホームページ運営委員会の事務局を所掌し、大学ホームページの更新等を実施している。学内広報誌「えんのき」については、編集内容の充実を図るため、大学協議会のもとに「えんのき編集委員会」を設置し、教員、事務職員、学生の協働による編集・制作活動を実施している。

1 5 - 2 大学関係者及び受験生に対する情報の公開

【現状の説明】

(1) 大学関係者(教職員・保証人・在学生・卒業生)への公開

大学関係者から求められる情報の公開には財政情報、成績結果、給与、職務評価などがある。財政情報はすでにホームページなどで広く公開されている(詳細については15-3を参照)。

学生からの成績結果の問い合わせに対しては書面による「成績照会制度」を設けており、教員が適切に説明責任を果たしている。また、保証人からの学生の修学状況や成績等に関する問い合わせに対しては、教務課を通して各学科の教員が随時対応している。必要に応じて面談を行っている。

教職員の給与に関しては、給与表を公開しており、各人が自分の状況及び大学全体の給

与体系を把握することができるようになっている。

なお、2007 度から教員評価制度の導入が決定しており、その評価結果は本人に公開されることになっている。

(2) 入試結果の公開

工学部では、一般入試については、希望者に本人の成績と解答例を文書により開示している。芸術学部では、試験の内容が実技試験を伴う独特な方法であるという性質上、結果の公開は行っていない。また、受験者数、倍率などの入試結果は、両学部ともにホームページ上で公開している。

【点検・評価】【長所と問題点】

(1) 保証人・在学生からの成績照会

成績照会については、その都度適切に対応している。なお、学生の成績は各学期末に保証人に郵送するとともに、各学科から修学状況についての情報も適宜通知している。

(2) 教職員の評価

教員評価は本人に公開される予定であるが、毎年度所属長により行われている事務職員の職務評価結果は、本人に公開されていないのが現状である。

(3) 入試結果の公開

工学部の「入試成績開示」制度については、募集要項に明示しており、適切な運用が行われている。ただし、2005 年度の問い合わせは数件にとどまっている。

1 5 - 3 財政情報の公開

【現状の説明】

法令等に定める財政情報の公開については、2004 年度決算より、計算書類等(財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書及び監事監査報告書)を学生等の利害関係人に対して閲覧を開始した。閲覧開始に係る告知は、各キャンパスの掲示板及び学内ネットワークにより周知した。2004 年度に係る財政情報の閲覧実績は 2 件であった。

教職員に対する財政情報の公開については、毎年 7 月、厚木キャンパスにおいて、全教職員を対象とする経理説明会を実施している。学校法人側出席者は、理事長、専務理事、常務理事(財務担当理事)及び常勤理事としている。また、決算概要説明資料を事前配布して、教職員の理解度を高める配慮をしている。

事業報告書及び予算書をホームページに掲載して、事業及び財政の状況を広く一般公開している。

【点検・評価】【長所と問題点】

本学における財務情報の公開は端緒に付いたところであり、今後、学内外の反応・評価を参考にして、公開内容の充実を図る。

教職員向経理説明会は、例年、厚木キャンパスで行われているが、2003 年度及び 2004 年度における出席率は 50%未達が 2006 年度においては 55.5%に改善した。キャンパスが厚木及び中野の二つに分散していること、開会時刻が終業後であること等が原因と考えら

れる。今後、より多くの出席が得られるよう、逐次見直していく。

財務情報の一般公開については、2006年7月に事業報告書及び事業計画・収支予算をホームページに掲載した。

15 - 4 自己点検評価結果の公表

【現状の説明】

各部署における自己点検・評価の報告を自己点検・評価委員会がとりまとめ、報告書を作成し、これを学内の教職員に配布している。また、全学報告会を開催し、一同に会した教職員に対して、各部署の担当者が点検・評価結果を報告している。

【点検・評価】【長所と問題点】

1999年5月に最初の全学報告会を厚木キャンパスで開催し、2回目は2002年6月に中野キャンパスで、3回目は2004年11月に厚木キャンパスで開催した。特に3回目の全学報告会では、単に自己点検・評価の報告にとどまらず、退学者対策をテーマとして、各部署における工夫事例の発表や改善案の提案などについて全学で議論を行った。これを基に、工学部と芸術学部の各学科において数値目標を含めた具体的な退学者対策を作成し、2005年度から実施している。

学内に教職員向けに報告書を配布し、さらに全学報告会を開催することで、自己点検・評価活動の内容をよりよく周知することができた。しかし、これまで公表は教職員向けにとどまっており、保証人や外部への公表が今後の課題であったが、2007年4月にホームページで公開する予定になっている。

15 - 5 個人情報保護

【現状の説明】

本学では、情報の公開を積極的に進める一方で、適切な個人情報の保護に努めている。個人情報保護法をもとに「東京工芸大学における個人情報保護に関する基本方針」、「個人情報保護委員会規程」及び「個人情報管理に係る管理者等に関する規程」を2005年度に制定した。毎年入学式において、新入生及び保証人に対し「東京工芸大学における個人情報保護に関する基本方針」を配布し、周知と適切な運用に努めている。

【点検・評価】【長所と問題点】

「個人情報保護委員会規程」では専務理事を委員長とした委員会を設置し、教務、学生、入試、就職等の小委員会をさらに設置し、各事業活動において必要な個人情報保護に関する手続きや様式等を具体的に検討している。

また2005年7月には外部講師を招聘し、全教職員を対象とした個人情報の取り扱いに関する研修会を開催し、意識の向上と適切な運用に努めた。これ以降は各部門ごとに現状を踏まえた適切な運用について取り組みが行われている。

【情報公開に関する将来の改善・改革に向けた方策】

今後も本学の教育・研究活動、財政情報、自己点検・評価結果等について、学内はもとより、社会に対して積極的な情報公開の姿勢を維持するとともに、説明責任の履行を適切に行えるよう、組織や手続き等について継続的に見直しを続けていく。

公開方法としては、閲覧、学内説明会及びネットワークの三本柱とするが、社会情勢の変化に伴う公開内容の変更については、柔軟に対応していく。

なお、情報公開にあたっては、個人情報保護法の改定やそれに基づく文部科学省からの通達等を踏まえ柔軟に対応できるよう、各小委員会での検討をさらに推進する。